

平成27年度秋期学位記授与式

式 辞

ここ高梁の地も、朝夕はめっきりと涼しく、ススキの穂が風に揺れる秋らしい季節となって参りました、本日の良き日に、平成27年度の吉備国際大学秋期学位記・修了証書授与式が挙行できますことは、私共、大学関係者にとりましても大いなる喜びであります。

卒業生の皆様、また大学院修士課程修了生の諸君、御卒業まことにおめでとうございます。心からお祝い申し上げます。留学生の皆さんには、本学での留学を有意義に過ごされ、専門的な知識と技術の修得に加え異国での貴重な体験を重ねられたことと思います。おめでとうございます。保護者の皆様には、本日の良き日を心待ちにされていたことと拝察申し上げ、心からお慶び申し上げます。

本日は、皆さんが吉備国際大学で卒業に必要な所定の単位を取得され多くのことを学ばれ自力で飛びたつ力を身につけられたことをお祝いする記念日があります。卒業式は、英語では **commencement** と申しますが、それは、「開始」「始まり」という意味であります。改めまして、皆さんの新たな人生の門出を皆様とともに心から祝福いたします。どうか明日から始まる実社会において大いに研鑽を重ねられ、吉備国際大学の卒業生として、国内外で大きく雄飛されることを期待致します。

社会では様々な出会いがあり、多様な社会の一員として自分の存立を図りながら互いに助け助けられて生きて行くことになると思います。人それぞれの特色、個性、使命が多様に相交差し、相調和して社会が形成されるのです。地球環境の保全に生物の多様性の維持が必須であるように、社会では、自由に活躍できる個々人の多様性を保持することが平和で安定した社会の構築と維持を育む基盤となっています。

したがって、次代を担う若い皆さんがそれぞれの置かれた環境の中で、社会や世界を広く俯瞰した視野を持ち、個性を生かした自分の役割を確立するため、学び自らを鍛え、精進されることが大切です。未来社会は、若い皆さんの双肩にかかっていると云ってもいいでしょう。

しかし、あれこれとあせる必要はありません。一步一步自分の最善の努力を懸命に行い、とことん精進した結果に後悔せず受け入れるという姿勢で、日々の努力を愚直に重ねることが大切だと思います。まさに「人事を尽くして天命を待つ」の気概です。私は、今、皆さんに、この言葉を送りたく思います。

どうか、希望を大きくもって、天空にそびえる備中松山城のように不動の皆

さんの立ち位置の構築を目指し、元気で楽しく笑顔で、活躍されることを期待しております。

終わりに、卒業生・修了生の皆さん、古巣となる母校は、巣立たれる皆さん「キウイバード」には、いつも開放されています。今後は同窓生として、吉備国際大学の発展を見守っていただき、ますますのご支援を賜りますようお願い申し上げます。卒業生皆さんのご健康とご活躍を祈念申し上げまして、式辞とさせていただきます。

平成27年9月18日

学校法人順正学園
吉備国際大学
学長 眞山滋志